

## 第9回富山県立中央病院医学雑誌奨励賞

受賞論文：

水野 将治, 伊奈志帆美, 二谷 武, 嶋尾 綾子  
東山 弘幸, 畑崎 喜芳, 内山 明央, 石澤 伸

レニンアンジオテンシン系阻害薬胎児病の一例

富山県立中央病院医学雑誌 2023；46；68-72

選考過程：

富山県立中央病院医学雑誌第46巻第1・2号および同第3・4号に掲載され、筆頭筆者年齢が掲載年の4月1日現在において、40歳未満である投稿論文の「原著」と「症例報告」から各編集委員が推薦論文を1編挙げた結果、原著1編と症例報告4編がノミネートされた。

令和5年11月30日に開催された編集会議における協議の結果、奨励賞論文は上記原著論文に決定した。その結果は、令和5年12月5日に開催された企画経営会議で承認された。

受賞理由：

レニンアンジオテンシン系阻害薬は妊婦には禁忌となっているが、いまだに使用されている例が散見され、改めて注意喚起する啓発的な論文である。さらに、剖検も行って詳細に検討されている。以上のことより、今後の奨励賞に値する論文と思われる。

令和6年1月4日に授与式が行われ、白田 和生院長から受賞者の水野 将治先生（代理：二谷 武先生）に賞状と副賞が授与されました。毎年1回奨励賞を選考しますので、職員の方々には、本医学雑誌に素晴らしい論文を投稿いただければ幸いです。なお、賞の対象は筆頭著者が40才未満の論文に限っております。若手～中堅の方々にとってこの賞が今後のご活動の励みとなればうれしいと思っています。ぜひ奮って挑戦下さい。

（編集委員長 彼谷裕康）

## 富山県立中央病院医学雑誌奨励賞実施要領

### 第1 趣旨

この要領は、富山県立中央病院医学雑誌のさらなる充実を図るため「富山県立中央病院医学雑誌奨励賞」を創設し、その顕彰について必要な事項を定めるものとする。

### 第2 実施主体

富山県立中央病院

### 第3 実施内容

年に1回1名を選定する。

なお、受賞者は筆頭著者とする。

### 第4 対象

当該年の富山県立中央病院医学雑誌第1・2号及び第3・4号に掲載された論文とする。ただし、論文の種類を原著及び症例報告とし、かつ筆頭筆者年齢が掲載年の4月1日現在において、40歳未満であるものとする。

### 第5 選考

- 1 当該年の富山県立中央病院医学雑誌第3・4号の発刊後に開催する編集委員会において、第1・2号及び第3・4号に掲載受理された前条の対象の論文から、地域の基幹総合病院である当院の特性に貢献すると考えられるものを選考し、企画経営会議で承認を得るものとする。
- 2 選考に当たっては、編集委員から過半数の推薦を受けたものを受賞者とする。過半数の推薦を得られた論文がない場合は、上位2編の論文について決選投票を行い、多数の推薦を得たものを受賞者とする。

### 第6 受賞者の発表及び表彰

毎年、秋に受賞者を発表し、院長より表彰状及び副賞を授与する。

#### 附則

この要領は、平成27年2月22日から施行する。

#### 附則

この要領は、平成31年1月22日から施行する。

#### 附則

この要領は、令和5年2月2日から施行する。